

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 4 回幹事会議事録 (案)

1. 日 時 : 平成 21 年 12 月 18 日 (金) 14:00~17:00
2. 場 所 : 土木学会 会議室
3. 出席者 : 横田委員長, 杉浦副委員長, 古市幹事長, 大垣幹事, 大山幹事, 斉藤幹事, 島幹事, 武知幹事, 田中幹事, 西崎幹事, 溝江幹事, 山口幹事, 渡辺幹事, 岡田事務局 (欠席者 : 池田幹事, 本間幹事)
4. 配布資料
 - 資料 幹4-1 第3回複合構造委員会幹事会議事録 (案)
 - 資料 幹4-2 平成21, 22年度予算執行状況
 - 資料 幹4-3-1 平成20年度複合構造委員会活動度評価
 - 資料 幹4-3-2 平成22年度事業計画及び予算要求調書
 - 資料 幹4-4-1 第8回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム報告
 - 資料 幹4-5-1 平成22年度全国大会共通セッションテーマ申込み
 - 資料 幹4-6 平成22年度土木学会各賞の推薦について
 - 資料 幹4-7 出版関連報告
 - 資料 幹4-8 土木学会論文集再編について
 - 資料 幹4-9 土木学界のIABSE会員について
 - 資料 幹4-10-0 複合構造委員会の小委員会一覧
 - 資料 幹4-10-1 示方書講習会(仮)決算書
 - 資料 幹4-10-2 維持管理小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-3-1 FRP補修補強小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-3-2 複合レポート04FRPを用いた鋼部材の補修・補k上の設計・施工
 - 資料 幹4-10-4-1 FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-4-2 FRPシンポジウム決算書
 - 資料 幹4-10-5 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-6 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-7 樹脂材料による複合技術研究小委員会 活動報告
 - 資料 幹4-10-8 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 設立趣意書
 - 資料 幹4-10-9 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会 設立趣意書
 - 資料 幹4-10-10 FRP複合構造研究小委員会 設立案
 - 資料 幹4-11 第2回複合構造委員会議事次第 (案)
 - 資料 幹4-12 第5回アジア土木技術国際会議での発表者ご推薦のお願い
 - 資料 幹4-13 平成22年度「重点研究課題」募集について
 - 資料 幹4-14 日米ワークショップ
 - 資料 幹4-15 幹事会開催予定
5. 議事内容
 - (1) 委員長挨拶
幹事会開催にあたり, 横田委員長より挨拶があった。
 - (2) 第 3 回幹事会議事録案の確認 (資料 幹 4-1)

古市幹事より前回幹事会議事録案が読み上げられ、承認された。

(3) 予算の執行状況と使用計画について (資料 幹 4-2)

古市幹事長より、平成 21 年度複合構造委員会予算の執行状況について、各小委員会とも使用金額は少ないことが報告された。今後の支出予定および予備費の使用希望があれば古市幹事長に連絡することとなった。

(4) 平成 20 年度委員会活動度評価結果と来年度の事業計画について (資料 幹 4-3-1, 幹 4-3-2)

古市幹事長から平成 20 年度の活動度評価結果が B 評価であることが報告された。

また、平成 22 年度の事業計画は、複合構造標準示方書講習会の地方開催、複合構造物の維持管理に関する講習会 (東京開催)、FRP による複合構造物の補修補強に関する講習会 (東京開催) とすることが確認された。複合構造標準示方書講習会の地方開催を本部行事または支部行事とするかを田中幹事が検討することとなった。

古市幹事長から、平成 22 年度の調査研究費の予算は、例年と同程度の要求額を提出したことが報告された。

(5) 第 8 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて (資料 幹 4-4-1)

古市幹事長より、11/4 に開催されたシンポジウムについて、以下が報告された。

- ・ 現場見学会は 15 名が参加された。
- ・ シンポジウムは 117 名の参加があり、59 編の一般講演があった。
- ・ CD-ROM は土木学会に 2 枚の寄贈があり、土木学会図書館に収めた。

(6) 平成 22 年度全国大会共通セッションについて (資料 幹 4-5-1)

古市幹事長より、共通セッションテーマを「複合構造物」として申請したことが報告された。

また、学会から投稿者が申し込む際の部門別セッション名の確認があり、共通セッションの複合構造物に投稿してもらえるような会告表現の対応を学会に要請したことが報告された。

1 月に研究討論会の確認が行なわれる際に、再度確認を行なうこととなった。また第 I 部門、第 V 部門に記載されている「複合構造」のキーワードの削除も過去に事例があることから、対応を検討してもらうこととなった。

(7) 土木学会各賞の推薦について (資料 幹 4-6)

横田委員長および古市幹事長より、平成 21 年度功績賞、田中賞、論文賞、国際貢献賞、国際活動奨励賞の推薦依頼について説明があり、推薦があれば古市幹事長に連絡することとなった。

(8) 出版関係について (資料 幹 4-7)

武知幹事より、複合構造委員会の出版図書販売状況と 2 件の平成 22 年度出版企画書のヒヤリング結果について報告があった。

(9) 土木学会論文集再編について (資料 幹 4-8)

横田委員長より、土木学会論文集の再編計画の状況について説明された。論文集再編小委員会からの意見照会に対しては、以下のように横田委員長が回答することとなった。

- ・ 論文集の区分に関するキーワードは論文集再編小委員会の提案通りとする。
- ・ 編集体制は A1 編集委員会と A2 編集委員会を分ける体制案を希望する。
- ・ 部門 A 編集小委員会の開催回数は発行回数に合わせた年 3 回を提案する。
- ・ 英文論文集については、発行の必要性の議論を要望する。

(10) 土木学会の IABSE 会員について (資料 幹 4-9)

横田委員長より、国際構造工学会 (IABSE) 日本支部から、土木学会が IABSE を脱会するため、鋼構造委員会、構造工学委員会、コンクリート委員会、複合構造委員会の 4 委員会に年会費 6 万円を分担した会員継続の依頼があったことが報告された。複合構造委員会は、今回の依頼に対しては対応することとなった。

(11) 小委員会報告審議事項について (資料 幹 4-10-0)

各小委員会の活動状況や審議事項について、各担当者から以下の通り報告され、協議された。

複合構造標準示方書小委員会 (資料 幹 4-10-1)

田中幹事より、12/17 に開催された複合構造標準示方書講習会では 80 名の参加者数であったことが報告された。また、講習会の地方開催について以下の協議がされた。

- ・ 大阪開催は、大阪工業大学の大阪センターを候補会場とし、4/20 または 4/23 の開催で大山幹事が問合せることとなった。1 月の会告原稿締切に間に合わせて、3 月号の会告に掲載する。
- ・ 札幌開催は、5~6 月実施を目標とし、上田委員長と相談することとなった。本部開催または支部開催については、支部と協議することとなった。
- ・ 講習会の質問への対応は、対応方針を作成して担当委員に連絡することとなった。
- ・ 正誤表の作成と公開を進めることとなった。

維持管理小委員会 (資料 幹 4-10-2)

溝江幹事より、小委員会報告書の説明があり、報告書の出版および講習会の開催は FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会と 7 月頃の合同開催とすることが確認された。

FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 幹 4-10-3-1, 幹 4-10-3-2)

山口幹事より、小委員会報告書の説明があり、報告書 (案) の概要について協議された。報告書はマニュアルのような目次構成であるため、実務に適用されるような誤解を防ぐことが課題となった。本間幹事、大垣幹事、渡辺幹事が査読することとなっており、大きな枠組みで査読し、目次構成を見直す場合は、出版時期を遅らせることとなった。

FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会 (資料 幹 4-10-4-1, 幹 4-10-4-2)

西崎幹事より、小委員会報告書の説明があり、「FRP 歩道橋設計ガイドライン」は来年度中の出版を目指すことが報告された。また、FRP シンポジウムの決算が報告された。

複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会 (資料 幹 4-10-5)

大山幹事より、小委員会報告書の説明があり、斉藤幹事が小委員会に参加され、書籍の目次を決定して作業を開始したことが報告された。

複合構造のずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (資料 幹 4-10-6)

渡辺幹事より、小委員会報告書の説明があり、中島委員長、渡辺幹事長の他 13 名の委員構成となり、1/7 に第 2 回委員会を開催することが報告された。

樹脂材料による複合技術研究小委員会 (資料 幹 4-10-7)

大垣幹事より、以下の小委員会報告書の説明があった。

- ・ 研究テーマ ①樹脂材料の分類と基本的性質の調査 ②複合材料としての適用事例の調査と分

類整理 ③接合材料としての適用事例のまとめ

- ・ 小委員会は2~3ヶ月毎に開催し、工場や現場の見学も行なう。
- ・ 報告書は平成22年秋から着手する。
- ・ 委員は上田委員長、大垣幹事長の他14名の構成となった。

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（資料 幹 4-10-8）

溝江幹事より、第Ⅱ種小委員会の設立趣意書が提示され、以下のような説明があった。

- ・ 研究テーマ ①これまでに提案されてきた高機能防水システムの調査 ②高機能防水システム適用事例 ③防水システム自体の性能評価法の諸外国と比較 ④構造物の排水システムの調査
- ・ 活動期間 平成22年度から2年間とし、3年目に出版、講習会の開催。
- ・ 成果の公表 複合構造レポート等の出版

FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会（資料 幹 4-10-9）

溝江幹事より、第Ⅱ種小委員会の設立趣意書が提示され、以下のような説明があった。

- ・ 研究テーマ 将来のFRPによる鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリート構造の補強設計指針の作成に資する調査研究活動
- ・ 活動期間 平成22年度から2年間とし、3年目に出版、講習会の開催。
- ・ 成果の公表 複合構造レポート等の出版

FRP複合構造研究小委員会（資料 幹 4-10-10）

杉浦副委員長より、FRP複合構造研究小委員会の設立案が提示され、以下の説明があった。

- ・ 研究テーマ FRPの材料係数、素材・部材の試験評価方法、FRP構造物の整理を調査研究する
- ・ 活動期間 平成22年度から2年間
- ・ 成果の公表 調査報告書の作成とFRPシンポジウムでの公表

(11) 第2回複合構造委員会について（資料 幹 4-11）

古市幹事長より、第2回複合構造委員会の報告事項および審議事項の説明があり、追加事項があれば連絡することとなった。

(12) 第5回アジア土木技術国際会議について（資料 幹 4-12）

古市幹事長より、学会から第5回アジア土木技術国際会議（5th CECAR）での発表者推薦依頼について説明された。複合構造標準示方書の出版について発表することを田中幹事が検討することとなった。

(13) その他（資料 幹 4-13, 幹 4-14, 幹 4-15）

横田委員長より日米ワークショップについて、古市幹事長より平成22年度重点課題募集および幹事会開催予定について、説明があった。

以上（記録・文責 武知 勉）